



# 山極勝三郎忌 (曲川忌)

## ご案内



上田市出身で大正4年(1915)5月。世界で初めて人工がんの発生実験を成功させノーベル医学生理学賞の候補になられた山極勝三郎博士。

がん研究の世界的先駆者で「幻のノーベル賞」といわれた博士の命日(3月2日)に、山極勝三郎博士顕彰会主催で、今年度は博士の生家の菩提寺である浄楽寺において「山極勝三郎忌(曲川忌)」を執り行います。

今回は、これを記念して、有明病院 臨床病理センター長・病理部長の石川雄一先生による講演会を開催します。

### 記念講演・演題

## 「山極勝三郎先生と発がん」

日時 平成31年3月2日(土)

15:00 ~ 17:00

場所 浄楽寺 墓地 本堂

(山極勝三郎博士生家の菩提寺)

※駐車場が狭いため、お車でのご来場は  
ご遠慮いただきますようお願いいたします。

山極先生は、がんの研究の歴史においてひとときわ顕著な業績を挙げられた。それは、がんとは、体の中から自然に起きてくるものなのではなく、外来の因子によって起こるものであるということ、世界で初めて証明した、という業績である。それ以降、発がん物質という概念ができ、がんを防ぐためには発がん物質への曝露をできるだけ少なくすることが大切である、という共通認識ができ、今日に至っている。「発がん」の研究とは、他人はなぜ癌になるのかを研究する分野である。

本講演では、21世紀の現代に生きる我々において、「人は何故がんになるのか」を、特に肺がんを例にとって述べたい。



石川雄一先生

#### 講演講師紹介

1977年 東京大学理学部卒業  
(地球物理学科)

1985年 東京医科歯科大学医学部卒業

2012年 (公財)がん研究会有明病院

2018年 臨床病理センター長・病理部長

主催 山極勝三郎博士顕彰会

お問い合わせ 一般社団法人 上田市医師会

〒386-0012 長野県上田市中心2-22-10

電話 0268-22-0665 FAX 0268-26-4527